

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)旭が丘ホーム改修・解体・増築工事**

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q1 建築物の環境品質</b>						2.9		2.9		2.9
<b>1 音環境</b>						3.0	0.15	2.7	1.00	2.9
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音						3.0	0.40	2.3	0.40	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						-	-	2.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	0.20	3.0	0.20	
<b>2 温熱環境</b>						2.1	0.35	1.5	1.00	1.9
2.1 室温制御						3.2	0.50	2.1	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能						1.0	0.25	1.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		事務室・医務室静養室:ヒートポンプマルチエアコン40㎡以下のゾーン				5.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式						1.0	0.30	1.0	0.30	
<b>3 光・視環境</b>						2.6	0.25	3.8	1.00	2.9
3.1 昼光利用						2.6	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率		専用部:1階ユニット居室B103 3.35%				1.7	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備		共用部:1階事務室AW-7.2階医務室・静養室AW-13ハイサイドライト				4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						2.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御		専用部:1~3階ユニット居室 低・カーテンの2種類でグレアを制御				2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		共用部:2階医務室・静養室 525lx				3.3	0.15	1.0	0.15	
3.4 照明制御		専用部:1~3階ユニット居室 ベット単位で制御				3.0	0.25	5.0	0.25	
<b>4 空気質環境</b>						3.1	0.25	3.8	1.00	3.3
4.1 発生源対策						4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		内装材及び天井裏等の材料はF☆☆☆☆を使用				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.30	3.6	0.38	
1 換気量		共用部:事務室1.32倍,医務室・静養室1.07倍,専用部:居室1.4倍以上				3.7	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能		専用部:1~3階ユニット居室1/10以上				-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						2.4	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理						1.0	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御						1.0	1.00	-	-	
<b>Q2 サステナビリティ</b>						2.5	0.30	3.1	1.00	3.0
<b>1 機能性</b>						2.5	0.40	4.0	1.00	2.9
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		専用部:1~3階各居室床面積10㎡以上				-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						1.0	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観		専用部:1~3階ユニット居室天井高さ2.5m				-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		維持管理に配慮した設計				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>						3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.3	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:長尺塩ビシート20年・壁(天井):石膏ボード+不燃クロス20年(30年)				5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外ダクトはステンレス製				4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途:給水管、汚水排水管、通気管:B以上、Eは不使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.4	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		重要機器(受水槽)の耐震強度KHは1.5G				4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		電話・光ケーブル・TVの多様な情報通信手段				4.0	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>			3.1	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30	3.0	0.50	
1 階高のゆとり		共用部:1階事務室0.24、2階医務室・静養室 0.23	3.0	0.60	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			3.0	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		景観条例により、周辺に調和した建物、植栽計画	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域交流室を設け地域に貢献	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							3.5
<b>LR1 エネルギー</b>			3.6	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		熱貫流率の低い断熱材の仕様	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		1階事務室AW-7.2階医務室・静養室AW-13ハイサイトライト	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.77	3.6	0.50	-	-	3.6
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			3.9	0.30	-	-	3.9
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		過半に節水コマ及び省水型機器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.9	0.60	-	-	3.9
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		既存建物を改修+増築	5.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		外構:再生クラシラン、事務室塩ビシート、ロケール、玄関タイル:ニューセラフォーム	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		1階事務室OAフロア採用	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			3.7	0.30	-	-	3.7
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出量81%	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		適切な駐車スペース、車いす用の駐車スペース	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうらみに漏れる光への対策		光害チェックリストの過半を満たす。広告物照明なし。	5.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	